スライド１

アジア太平洋障害者連携フォーラム2019

セッション4

「自ら仕事を創る起業というオプション」

2019.2.3

ＮＰＯ法人アントレプレナーシップ開発センター理事長　原田　紀久子

スライド２

沿 革

1998年：京都リサーチパーク（株）の事業として開始

1999年：「起業家教育センター」（旧称）設立

2003年：NPO法人認可と同時に名称改変

ミッション

自ら仕事を創造し、社会変革に積極的に取り組むアントレプレナーシップ（起業家的行動能力）溢れる人材育成とそのための社会環境づくり

活動内容

アントレプレナーシップ推進のために；

・カリキュラム・教材・教育プログラムの開発

・指導者研修＆授業支援

・普及イベントや創業塾などの講座開催

・社会事業の実践研修の提供

・起業・事業運営に関わるコンサルティング

スライド３

障碍のある方と関わる仕事

スライド４

福祉施設での職場体験

小・中学生が地域の福祉施設で働き、高齢者や障碍者について理解を深める機会を提供

将来、福祉現場で働きたいという若者を増やすことも目的の一つ

写真１：洗濯物をたたむ子供達

写真２：学んだことをボードで発表

写真３：子ども達作成の発表記事

スライド５

施設スタッフへのマネジメント研修

障碍者の就労支援施設にて、利用者の工賃向上が求められるなか、施設スタッフに

今までとは異なる能力（商品開発・販路開拓等）が必要になってきたことに対応し、民間

のノウハウを学ぶ研修を行ったうえで個別施設のニーズに応じた支援を行うもの

写真：課題の洗い出しと解決策の具体的プランニング

写真：商品力向上と販路開拓

スライド６

福祉から雇用へ

働く能力のある利用者が施設にとどまっている課題を解決するもの福祉施設で訓練事業を受ける障碍者の方々の工賃向上や一般就労を応援する事業

写真１：デザイン性を高めて、授産製品の付加価値を上げて、高く売る工夫をする

写真２：一般就労した先輩や雇用者から話を聞いて、就職への一歩を応援する

スライド７

障碍のあるなしに関わらず、

誰にも、どんな仕事をする人にも

アントレプレナーシップ

は不可欠

スライド８

本日のセッション

＜ゲストスピーカー＞

1. 尾中幸恵氏（コーヒーハウスCODA 店主）
2. ナムチョック・ペットセン氏（フォー・オール・エイブル代表）

③初瀬勇輔氏（（株）ユニバーサルスタイル・（株）スタイル・エッジMEDICAL　代表取締役）

＜目標＞3人の方の体験を通じて

①起業のメリットや成功の秘訣について学び

②アントレプレナーシップの必要性を理解し

③自ら事業を起こし、経済的自立や社会参画を実現する可能性と、そのために必要な応援について考える